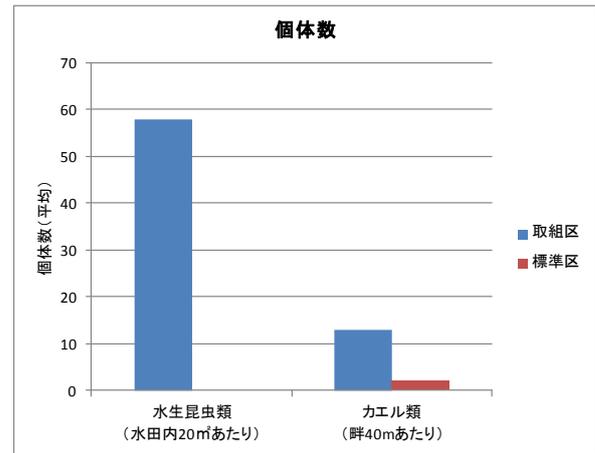
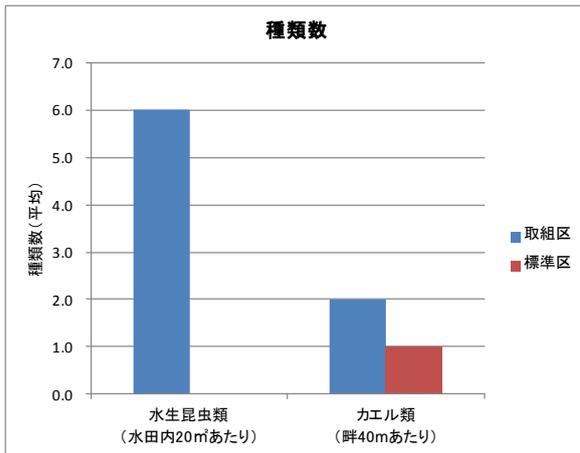


# 生き物緩衝地帯の設置

## 取組区と生き物緩衝地帯（水路）と標準区との比較

調査地点数: 1地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m <sup>2</sup> あたり)	6	0	58	0	2.10	0
カエル類(畔40mあたり)	2	1	13	2	0.62	0

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



生き物緩衝地帯の取組区分において、水生昆虫類は、種類数・個体数ともに取組区で多く確認された。カエル類についても、取組区の方が標準区より種類数・個体数ともに多かった。

多様度指数についても、水生昆虫類・カエル類ともに取組区で高い結果となった。

取組区には、写真のような水路が設置されているので、渇水時に生き物の避難場所になると考えられる。



生き物緩衝地帯の水路と水田（鯖江市）



取組区の水田で確認されたトノサマガエル



取組区の水田で確認されたドジョウ